

# サトイモ疫病の発生に注意しましょう！

令和3年7月

JA 山武郡市 営農部 営農振興課  
山武農業事務所 改良普及課

## 【発生の目安】

「日平均気温 25℃」  
+  
「まとまった降雨」



早期防除が非常に重要です！！



図 疫病の病斑

〈効果的な防除の一例〉

- 発病前または発病直後にダイナモ顆粒水和剤を散布し、発病・進行を抑える
- その後は1～2週間に1回程度のペースで登録薬剤を散布し、病気の蔓延を抑える

表 サトイモの疫病に登録のある散布剤の例

薬剤名	倍率	使用時期	使用回数	予防	治療
ジーファイン水和剤	1000倍	収穫前日まで	制限なし	○	○
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	○	○
ペンコゼブ水和剤	500倍	収穫7日前まで	2回	○	
ダイナモ顆粒水和剤	2000倍	収穫21日前まで	3回		○

参考：令和3年版農作物病害虫雑草防除指針（千葉県）

〈注意〉

○サトイモの葉は強い撥水性があるので、展着剤を併用し、株元までしっかり散布しましょう。

○強日射によるマルチの照り返しや、高温により葉焼けが誘発されるときは薬害の発生が助長されます。涼しい時間帯での散布を心がけましょう。

なお、以下の組み合わせでは薬害が生じる恐れがありますので、注意してください。

例) アミスター20フロアブル+アプローチB I

ペンコゼブ水和剤+スカッシュ

○農薬使用時は必ずラベルの記載内容を確認してください。